

## 令和5年度「学校推薦型選抜Ⅰ」講評

### 1. 小論文

#### (1) 方法

本年度の小論文課題では、日本人の性別役割分担意識の変化を示すグラフと、国際比較の観点から見た日本人の有償労働・無償労働の特徴を示すグラフを資料として提示し、受験生には、各資料から読み取れることを整理した上で、固定的な性別役割分担意識の解消や男性中心型労働慣行の変革のためにはどのような取り組みが必要か、自らの考えを述べることを求めた。

この課題は、資料の表すデータを読み取った上で、それを踏まえて、社会問題に対する自分の考えを明確かつ論理的に表現することができるかどうかという観点から、本学のアドミッション・ポリシーに則り、広く社会の課題の探求と解決に、主体的に取り組む姿勢を持っているかを確認することを目的として作成した。

#### (2) 結果に関する評価

評価のポイントは、①資料の表すデータを客観的に文章化することができるか、②資料から読み取ったことを踏まえて、自分の考えを具体的に述べているか、③全体を通して一貫した論理構成になっているか、であった。

そのため、問題文の指示に対応した答えができていないもの、資料の内容を正しく読み取れていないもの、資料とは無関係に自分の考えを述べているもの、抽象的な議論にとどまっているもの、主張を支える論拠が不十分なもの、反対意見が考慮されていないものは低い評価となった。また、段落の使い方などの文章構成が不十分なものや、字数制限を大幅に逸脱している、誤字脱字が多いなど文章表現の基本が守られていないものも低い評価となった。

一方、資料の内容を正確に理解し、それを十分に活用しているもの、社会の課題の解決のために何をどうすれば良いのか具体的に述べているもの、自らの知識や経験に基づき説得力のある論拠を提示しているもの、反対意見を考慮しつつ独自性のある議論を展開しているもの、文章の構成がしっかりと考えられているものは高い評価となった。

### 2. 個人面接

#### (1) 方法

新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、1人あたり約20分で面接を行った。評価の基準は次の3点であった。

##### ① 表現する力

自己推薦書やアピール・ポイントの内容をわかりやすく表現しているか。

自分の考えを面接員の質問に応じて理解しやすい形で表現しているか。

##### ② 面接の態度

相手の発言を真摯にきく態度であるか。

対話に参加しようとする姿勢であるか。

③ 適性や意欲

入学への真の意欲があるか。

「大学案内」などによってカリキュラムの内容を理解しているか。

(2) 結果に関する講評

上記の3つの基準を踏まえて評価をした。その結果、面接員のコメントは下記のようなものであった。

① 「表現する力」に関するコメント

コロナ禍において高校3年間で過ごしたことを考慮した上で、高校3年間自分が力を入れてきたことや自分のアピールポイントなどについて、自らの言葉を使って具体的に表現した受験生には高い評価が与えられた。また、自分の将来の目標と本学のカリキュラムとの整合性について具体的な説明を行った受験生にも高い評価となる傾向にあった。しかしその反面、カリキュラムについての理解不足や、自らのビジョンとの整合性や具体性に欠ける受験生には低い評価となる場合が多かった。受験生には、本学の学びについての理解と将来のビジョンを具体的に自分の言葉で表現できることを期待したい。

② 「面接の態度」に関するコメント

面接においては、緊張して多少受け答えがぎこちなくても、真摯な態度で対応すれば低い評価とはならない。まずはしっかり質問に対してきちんと答えることが重要で評価されていた。逆に、質問に対して答えとなっていない発言は、評価を下げる傾向にあった。

③ 「適性や意欲」に関するコメント

この項目で最も重視される点は、本学へ入学したいという意欲が感じられることが重要であるが、それに見合うだけの本学の学びについての理解も求められる。アドミッション・ポリシー、カリキュラム、学びの特色（リベラル・アーツ教育など）について、また、入学後に学びたい科目やゼミ、教養課程（グローバル人材養成プログラムと現代教養科目群）と専門課程（言語・文化、メディア・コミュニケーション、国際政治経済という3専攻）などの理解は不可欠である。本学についての理解の欠如は、入学者としての適性の欠如と評価される傾向にあった。本学の学びについては、内容の暗記となつてはならず、これを十分理解した上で、自分の将来のビジョンと本学の特徴との整合性について、表現できる受験生には高い評価が与えられた。また、入学後の本学での活動についても、明確かつ具体的なビジョンを持っている受験生が、より入学意欲が高いと評価される傾向にあった。受験生には、本学での学びを十分理解した上で、自分が本学の環境において、どのように成長したいか自分の言葉で意欲を伝えてほしい。